

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

「一人の困りごとは、みんなの困りごと」との考えのもと、健常児から医療的ケアが必要な障がい児まで安心して教育を受けられ社会参加できるように、医療と関係職種が緊密に連携し、サポートチームを構築し、発達障害、特定疾患、食なども含め、多くの子育ての悩みを抱える保護者等にも総合的に対応できる新たな拠点、かつてどこにもないような小児医療、子育て支援のキーステンションの実現を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	子育て支援拠点(医療型短期入所施設等)の整備	・支援拠点整備か所数 2023年2か所→2026年2か所 (内容の充実を図る)
☐ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	呼吸リハスタッフの養成	・呼吸リハスタッフ数 2023年6人→2026年8人
☐ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	小児在宅訪問診療事業の拡充	・小児在宅訪問診療スタッフ数 2023年3人→2026年5人

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年〇人→2026年〇人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

SDGsの誰一人取り残さないとの考え及び「一人の困りごとは、みんなの困りごと」をベースに、子どもの保護者、介護事業所、基幹病院、行政等との連携を深めるとともに、職員の資質の向上と働く環境の改善も図り、一丸となって誰もが安心して暮らせる支援拠点を築いていく。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	子育て支援拠点(医療型短期入所施設等)の整備	2020年1か所→2023年2か所
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	台風等の避難先として自家発電装置のある災害拠点として2か所目を計画通り整備することができた。	2023年2か所
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	呼吸リハスタッフの養成	スタッフ数 2020年4人→2023年8人
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	呼吸リハスタッフを養成し人数を増やしたかったが、募集しても人が集まらず計画通りに増やすことができなかった。	2023年6人
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☐ 環境 ☑ 社会 ☑ 経済	小児在宅訪問診療事業の拡充	スタッフ数 2020年兼業1.5人→2023年4人
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	診療に関わる小児科医の不足と経営的な要因で給与等を上げられず人が計画通りには集まらなかった。	2023年3人

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。**指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。**

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する**実績を数値を用いて記載してください。**